

- 1 … インターンシップ始動・彩の国カップ
- 2 … 全国大会結果報告～夏の決算
- 4 … 国体・関東ブロック大会
- 5 … 総務委員長に聞く
- 6 … 運営委員会報告
- 7 … 3種リーグワーキンググループ報告
- 8 … 大会記録
- 14 … SMC・技術委員会より・市町協合理事長会議
- 15 … 審判委員会より～競技規則改正
- 16 … インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和 1-21-18 雁ヶ音ビル204号室
Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/ (年間購読料 1500円)

インターンシップ制度、始動 ～中学校の指導者不足解消に向けて～

今年度の大きな取り組みの一つとして掲げてきた、現役大学生を中学校の指導現場に派遣する「インターンシップ制度」が大きな一歩を踏み出し始めた。県教育委員会、関係大学と連携しての「平成21年度大学生によるスポーツインターンシップ」に向けて、9月7日から4日間、平成国際大学に於いてC級ライセンス講習会が開催された。

講師は西川誠太同校サッカー部監督。参加したのは23人だったが、体調不良もあり、結果的には平成国際大学から14人、埼玉県立大学から5人、そして立教大学から3人の22人が無事コースを終了した。

同じ年代ということもあり、無駄なくスムーズに運営されたことが印象的だった。参加者からも「楽しかった」という声が多く、今までと違った観点からサッカーを見ることができ、新鮮だったようだ。西川氏に聞いた。

「しゃべりすぎて喉が疲れました(笑)。最後、彼らに言いましたが、これで終わりではない、まだまだ続くということです。現場に出て様々なことに直面し、子供たちから学ぶものも多いと思います。今回の講習は、全員やる気があり、技量にも高く、同じ目的意識を持っているというところでいい内容になったと思います。栄えある1期生として、プライドを持って現場で頑張ってもらいたいと思います」

現在、22もの中学校から受け入れ希望がある。受講生の生活環境を加味しながら、県教育委員会からの推薦を受け、早ければ9月末から、指導が始まる予定だ。



埼玉県代表は2年連続、尚美学園大学 ～彩の国カップ～

8月23日、やや涼しくなった熊谷文化スポーツ運動公園陸上競技場において、平成21年度彩の国カップ第14回埼玉県サッカー選手権大会の決勝戦が行われた。

前年度優勝の尚美学園大学(関東大学リーグ2部)が今年もファイナリストとなり、これに挑むのは、10年振りの代表を目指す城西大学(県リーグ1部)。大学勢同士の対決となった。

試合は大味な展開の中、城西大学が前半25分に先制し、後半に入っても試合を優位に進める。このまま終わると思われたロスタイム、尚美学園大学が劇的な同点ゴールを決めると、延長へ突入。前後半20分でも決着がつかず、さらにPK戦へと進む。緊張感で息詰まる中となった。5人目までは全員が成功を収める両チーム。しかし、尚美の6人目となった竹内は決めたものの、城西の6人目である岡山がゴールの枠を外してしまう。この瞬間、尚美学園大学の選手たちがピッチで歓声を挙げた。

尚美学園大学は、埼玉県代表として第89回天皇杯全日本サッカー選手権大会に出場。9月20日、福島県代表の福島ユナイテッドFCと対戦し、PK戦の末、3-3(1PK3)で敗れた。

決勝戦 尚美学園大学 1-1 城西大学
(6PK5)
得点者：城西・斉藤(25分)、尚美・杉下(89分)



全国大会結果報告～夏の決算

2 種

全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会

8月1日～8日 奈良県立橿原公苑陸上競技場ほか

1 回戦 浦和南(埼玉2) 1 - 3 草津東(滋賀)
久我山(京都) 2 - 1 浦和東(埼玉1)

※優勝は前橋育英(初)



浦和東 - 久我山



浦和南 - 草津東

Adidas CUP 2009

第33回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

7月24日～8月2日 ニッパツ三ツ沢球技場ほか

出場チームなし

第19回 全国高等学校定時制通信制サッカー大会

8月7日～11日

1 回戦 県陽高校 5 - 0 芦名まなび高校
2 回戦 県陽高校 1 - 2 伊勢崎工業高校

※優勝は秀英高校(神奈川)

3 種

第40回全国中学校サッカー大会

8月20日～24日 島原陸上競技場ほか

1 回戦 さいたま市立原山中 2 - 3 帝京大学可児中

※優勝は静岡学園中。

Adidas CUP 2009

第24回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月14日～23日 Jヴィレッジスタジアムほか

グループC	勝点	勝	負	分	得失点差	順位
浦和レッドダイヤモンズジュニアユース	7	2	0	1	+6	1
ACNジュビロ沼津	6	2	1	0	±0	2
ジェフユナイテッド市原・千葉U-15習志野	4	1	1	1	-1	3
小倉南FCジュニアユース	0	0	3	0	-5	4

●ベスト16

浦和レッズジュニアユース 2 - 3 名古屋グランパスU15

※優勝はヴィッセル神戸ジュニアユース(初)

4 種

第33回全日本少年サッカー大会

～新座片山準優勝～

8月2日～8日 国立西が丘サッカー場ほか

●1次ラウンド

Aグループ	勝点	勝	負	分	得失点差	順位
大宮アルディージャ	13	4	0	1	+6	1
横河武蔵野FC	11	3	0	2	+12	2
エグゼ90FC	8	2	1	2	+5	3
レインボー長崎	7	2	2	1	-2	4
長畝FC	3	1	4	0	-11	5
宮前SC	0	0	5	0	-10	6

Eグループ	勝点	勝	負	分	得失点差	順位
新座片山FC	12	4	1	0	+12	1
Uスポーツクラブ	10	3	1	1	+12	2
JFE倉敷FC	10	3	1	1	+6	3
徳島ヴォルティス	9	3	2	0	+6	4
FCパレンティア	1	0	4	1	-13	5
箕蚊屋SC	1	0	4	1	-23	6

●ベスト16

大宮アルディージャ 0 - 0 兵庫FC
(4PK5)

新座片山FC 2 - 0 パレリアSC(熊本)

準々決勝 新座片山FC 3 - 1 四日市JFC

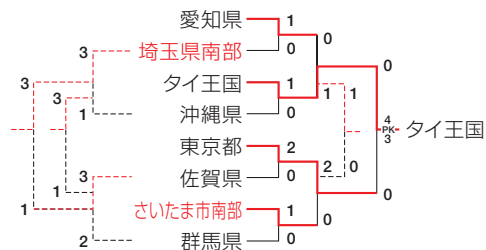
準決勝 新座片山FC 2 - 0 横河武蔵野FC

決勝 新座片山FC 0 - 2 名古屋グランパス

埼玉国際ジュニアサッカー大会 2009

7月24日～26日 埼玉スタジアム2002他

●優勝決定トーナメント



優勝	タイ王国	4 位	さいたま市南部
5 位	埼玉県南部	12 位	さいたま市北部
17 位	埼玉県西部	18 位	川口市
19 位	埼玉県育成リーグ	20 位	埼玉県北部
21 位	所沢U-12	22 位	埼玉県東部

女子

第18回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

7月25日～8月1日 ヤマハスタジアムほか

1 回戦 本庄第一 6 - 1 鳴門(徳島)

2 回戦 本庄第一 0 - 4 鳳凰(鹿児島)

※優勝は常盤木学園(宮城)

第14回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会

浦和レッズジュニアユースレディースが2年連続2度目の優勝。

8月7日～11日 Jヴィレッジ

グループA	勝点	勝	分	負	得失点差	順位
浦和レッズJrユースレディース	9	3	0	0	+17	1
盛岡ゼブラレディースFC(岩手)	4	1	1	1	-4	2
名古屋FCレディース(愛知)	4	1	1	1	-6	3
FC EFFRONTE(岡山)	0	0	0	3	-7	4

●決勝トーナメント

準決勝 浦和レッズJrユースレディース 3 - 1 スフィーダ世田谷

決勝 浦和レッズJrユースレディース 5 - 2 神村学園中等部(鹿児島)



©URAWA REDS

浦和レッズジュニアユースレディース連覇、新座片山が準優勝

～小林武・技術委員長に聞く

「インターハイでは浦和南を見ました。十分全国でも戦えると思いますが、ちょっとした差があったと思います。もう少し経験値が上がれば、よくなると思いました。点差ほど力の差は感じませんでした。

浦和東については、核になる選手がいれば、という感じでしょうか。両チームに思うことは、守備がまだまだ甘いということでしょう。

全少では新座片山が準優勝してくれました。JFAの技術副委員長である吉田靖さんからは『頑張る姿に好感が持てた』と言ってもらいました。一生懸命やることを評価したいと思います。

女子のU-15での浦和レッズジュニアユースレディースの連覇は見事でした。この調子でさらにレベルアップしていただければと思います。

近年、埼玉から選手は出ていますが、チームとしての結果についてはもっと頑張らなければならないと思います。勝っていくことで成長するということもあります。今後とも、よろしくお願いします」

平成21年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技会における関東技術委員派遣報告(抜粋)

埼玉県立南稜高等学校 塚本 卓司

●大会内容より

★夏の短期決戦を乗り切る戦い

大会は3日続いて、1日休養日が入り後半3日を行く。35分ハーフで延長戦は決勝戦以外行わないが、短期間で日程を消化するため継続して力を出すことの難しさが如実に出た。逆にチームとして徹底した戦い方をできたチームは勝ち残っていた。チームとしての戦い方や、高校生特有の精神的なコントロールの難しさが出ていた。

★バランスを重視した戦い

多くのチームが4-4-2で2人のディフェンシブハーフを置いていた。それ以外も4バックのチームがほとんどで3バックのところはわずか数チームであった。ただし、サイドバックからの攻撃参加をしているチームはあまりなく、どちらかというとバランスを取り相手の攻撃に備えていたための4バックであったといえる。攻撃時も4人のDFは揃っていることが多かった。このためか、攻撃は攻撃の選手、守備は守備の選手といったように分業しているところがはっきりしていた。

★先制点の有利さ

夏場の暑い時間での戦いであることと、35分ハーフであるため先制点を取って、そのあとはリスクを冒さず守備を固めて逃げ切る戦いが多かった。別表の図にも記したが54ゲーム中、先制点を取ったチームの勝利は35試合(うちPK 2試合)、先制をしたが負けたチームは15試合(PK 4試合)であり、勝率にすれば65%になる。

★得点時間帯

突出した時間帯での得点は無いが、後半での得点が多い。特に最後の15分間での得点が多かった。後半開始早々での得点も目立った。

★米子北の躍進

今回、米子北の試合を5試合見たが日を追うごとにチームとし

ての成長が見られた。

高校生特有の波に乗るということができたチームの1つであった。4-4-2で2人のディフェンシブハーフを配置したシステムであり、FWからDFまではほぼ等間隔で配置され、コンパクトなラインが1試合を通じて保たれている。そのため守備のブロック体制がきちんと整っていることからなかなか崩せるチームがなかった。ボールを奪ってからはFW谷尾(178cm)にロングボールを集め、それをもう1人のFWが拾いながらゴールを目指すものであった。谷尾はあまりサイドに流れることはほとんどなく、中央にいたことが多いため、DFもターゲットを見つけやすい。そのためかDFからはほとんどFWを確認することなく、ロングボールを蹴りこんでいた。チームとしての戦い方は毎回徹底されており、先制点を取り、堅守で逃げ切っていた。決勝戦では唯一先制点を許し、チームとしての立て直しが計れなかったのが敗因であった。

●埼玉県勢の戦いから

本県からは浦和南高校と浦和東高校が参加したが、共に一回戦敗退であった。実際には浦和東高校の試合を見た。試合の流れとしては京都久御山に先制を許し、その後セットプレーで同点にし、さらにはPKを獲得して勝ち越す場面もあったのだがそのチャンスも物にできず相手の攻撃の要であるMF森岡からの攻撃で失点を許し敗退となった。

浦和東は攻撃では2トップをサイドに走り込ませ、そこへボールを集めサイドから攻撃を組み立てていた。守備では前線から速いプレッシングで相手を自由にさせなかった。ところが、2人のボランチの役割が明確でないため、2人同時に上がった時にその後方へスペースができたり、またDFもボールへ集中することがあり、マークをはずすこともあり、そこへ相手のMF森岡がプレーできるスペースを与えてしまった。この選手は非常に技術も高く、ドリブルやパスを駆使して攻撃を自由に組み立てられるプレーヤーである。他の選手も技術レベルは高く、ショートパスで攻撃を組み立て、ワンタッチのプレーを織り交ぜながらテンポの速い攻撃に苦しい対応を強いられた。

浦和レッズ Jr ユースレディース・神戸慎太郎監督に聞く

「これまで5回全国に行きましたが、神村学園にしか負けていませんでした。そこを基準として、今年もチーム作りをしてきました。昨年、初優勝したのは初めてセレクションを行ったときのメンバーが3年生でした。今年は、昨年サブだったメンバーがレギュラーとなり、さらに同じことを成し遂げなければならないというプレッシャーがありましたが、これがいい緊張感となったと思います。

グループリーグを無失点で通過することができましたが、決勝トーナメントに進んだ4チーム中3チームが関東という状況です。関東の予選だけでなく、関東女子リーグでも戦っていることなど日頃から拮抗した試合を続けられる環境にある結果だと思っています。それだけに油断、過信というのが心配されました。ですから、この結果はこれまでの成果とメンタルコントロールの両輪で勝ち得たものだと思っています。

この年代の環境面では、全国でもナンバーワンだと思います。ただ時間的な制約のある中ですから、彼女たちの努力あつてのことです。また埼玉にいい素材がいるからです。レッズの下部組織ということで、より刺激のある目標となっていることも痛感しています。トップ、U-18、U-15とそれぞれが結果を出すことによって、埼玉の女子サッカーを引っ張っていければと考えているところです。ありがとうございました」



「第64回国民体育大会関東ブロック大会」結果報告

去る8月15日から千葉・市原スポレクパークを主会場に、関東ブロック大会が開催された。結果的には成年男子は予選を突破できなかったものの、女子と少年男子が新潟での本大会(9月27日～)出場を決めた。なお、女子の1回戦は福岡県と、少年男子は2回戦からの登場で兵庫県と対戦する。両チームの健闘を祈りたい。

●成年男子 ※ 本大会出場ならず

1回戦 埼玉県 0-1 千葉県

成年男子・坂庭監督

「いい試合だったと思うが、点が取れそうで取れなかった。これで2年連続関ブロでは無得点。相手と比較して、コンディションはよかった。阿部コーチの下で選手たちはいい準備をしてきたと思う。だが残念ながら、これが成年男子の現状だ。

現在の社会人はJFLのチームが無く、関東リーグに4チームも参加しているが、今年の成績は1部の2チームに降格の可能性がある、2部のチームも県への降格の可能性があるという状態でもある。

来年に向けては、早く体制を決め、お願いした監督に対して、1種委員会、技術委員会が全面的にサポートする環境を整える必要があると考えている」

成年男子

監督	坂庭 泉	財団法人埼玉県サッカー協会
1 GK	高祖 景一	パイオニア川越事業所サッカー部(パイオニア川越事業所)
2 DF	甲能 光	さいたまサッカークラブ(北本高校)
3 DF	熊谷 貴史	ホンダリミノッ狭山FC(本田技研工業(株)埼玉製作所)
4 DF	金子 功	パイオニア川越事業所サッカー部(パイオニア川越事業所)
5 DF	石丸 皓三	さいたまサッカークラブ
6 MF	峯岸 佑輔	パイオニア川越事業所サッカー部(パイオニア川越事業所)
7 MF	大野 恭平	さいたまサッカークラブ(三郷高校)
8 MF	本多 剛	FC和光パシオネット(株)DTC)
9 MF	柳沢 祐司	パイオニア川越事業所サッカー部(パイオニア川越事業所)
10 FW	鈴木 竜基	ホンダリミノッ狭山FC(本田技研工業(株)埼玉製作所)
11 FW	荒田 雅人	パイオニア川越事業所サッカー部(株)パルススタッフ)
12 GK	上原 克彬	さいたまサッカークラブ(川口養護学校)
13 MF	山崎 功二	坂戸シティフットボールクラブ(株)埼玉シンコーモールド)
14 DF	鶴田 純	ACアルマレッザ(立飛企業(株))
15 DF	中居 剛士	ホンダリミノッ狭山FC(本田技研工業(株)埼玉製作所)



●女子 ※ 本大会出場決定

1回戦 埼玉県 14-0 栃木県
得点者 窪田2、堀田2、加藤、松田5、若林4

決定戦 埼玉県 1-2 神奈川県
得点者 窪田

敗者復活戦 埼玉県 1-0 東京都
得点者 窪田

女子・村松監督

「不甲斐ない試合をしてしまった。1試合目に14点も取り、本

大会出場を決めるはずだった神奈川戦は『なんとかなるか』という雰囲気が入ってしまった。それでも後半に先制したものの、それで安心したのか一つ一つのプレーが緩慢になってしまった。ミスと交通事故のような失点で敗れてしまったが、そういう状況を作り出したプレッシャーの甘さは大きな反省となった。やはりどんな相手に対しても100%でやるべきことをしなければ、負けてしまうこともあるというのはいい経験になったと思う。

実際、翌日の東京戦では守備面では改善された。ただ、攻撃に関しては神奈川も東京も、ゴール前を固めてカウンターという戦術が徹底しており、攻め手を欠いてしまったことは悔やまれる。

若い選手でチームを構成したが、この戦いを通じて自信やたくましさを身につけたのではないかと考えている。

本大会での目標は連覇。そこに行き着くまでにいろいろな山があるだろうが、乗り切れるよう、チーム一丸となって挑みたい」

監督	村松 浩	浦和レッドダイヤモンズレディース
1 GK	池田咲紀子	浦和レッドダイヤモンズ JY レディース
2 DF	土橋 優貴	浦和レッドダイヤモンズレディース(サイデン化学(株))
3 DF	西田 明美	浦和レッドダイヤモンズレディース(埼玉りそな銀行)
4 DF	森本麻衣子	浦和レッドダイヤモンズレディース(株)サイサン)
5 FW	橋本 舞	浦和レッドダイヤモンズ JY レディース
6 MF	木原 梢	浦和レッドダイヤモンズレディース(株)昭和工業)
7 MF	岩倉 三恵	浦和レッドダイヤモンズレディース(サイデン化学(株))
8 FW	堀田えり子	浦和レッドダイヤモンズレディース(埼玉りそな銀行)
9 FW	若林 エリ	浦和レッドダイヤモンズレディース(クリーンシステム(株))
10 MF	庭田亜樹子	浦和レッドダイヤモンズレディース(株)SPDセキュア)
11 FW	窪田 飛鳥	浦和レッドダイヤモンズレディース(埼玉りそな銀行)
12 FW	松田 典子	浦和レッドダイヤモンズレディース(埼玉県信用金庫)
13 MF	加藤 千佳	浦和レッドダイヤモンズ JY レディース
14 MF	保坂のどか	浦和レッドダイヤモンズレディース(株)エコ計画)
15 MF	栗島 朱里	浦和レッドダイヤモンズ JY レディース



●少年男子 ※ 本大会出場決定

1回戦・決定戦 埼玉県 4-1 群馬県
(延長)
得点者 矢島慎、矢島倫2、長坂

少年男子・二見監督

「関東トレセンリーグでも前半が悪く、70分から反撃に出るとい展開が多かった。その勢いを前半から出していこうと言ったが、なかなか伝わっていないのが現状だ。だから群馬に勝ちましたが、中身に関しては満足できるものではなかった。

このチームとしてのテーマは、まず攻撃はスペース。スペースを見つける、作る、そこに早く動き直す……を求めている。守備については前線からのボールを奪うということ。1、2mでも寄せることを強調しているところだ。そして相手の縦パスを狙って、カウンターということも意識させている。

本大会では負けたら終わり。1試合でも長く戦いたい。そして目標は優勝だ」

少年男子

監督	二見 元	県立滑川総合高校
1 GK	伊藤健太郎	大宮アルディージャユース (大宮西高校)
2 DF	森 崇	さいたま市立浦和高校 (同左)
3 DF	工藤将太郎	大宮アルディージャユース (朝霞高校)
4 DF	今泉 賢人	浦和レッドダイヤモンズユース (浦和学院高校)
5 MF	西山 航平	浦和レッドダイヤモンズユース (早稲田大学本庄高等学院)
6 MF	片 慎吾	浦和レッドダイヤモンズユース (与野高校)
7 MF	矢島 慎也	浦和レッドダイヤモンズユース (大宮南高校)
8 MF	野崎 雅也	浦和レッドダイヤモンズユース (浦和西高校)
9 MF	矢島倫太郎	浦和レッドダイヤモンズユース (与野高校)
10 MF	清水 道浩	大宮アルディージャユース (浦和東高校)
11 FW	堀田 稜	浦和レッドダイヤモンズユース (早稲田大学高等学院)
12 GK	三上 綾太	浦和レッドダイヤモンズユース (西武台高校)

13 FW	内田 元輝	川崎フロンターレユース (浦和南高校)
14 DF	菊池 翔	大宮アルディージャジュニアユース (春日部市立葛飾中学校)
15 MF	岩木 慎也	FC東京U-18 (狭山工業高校)
16 FW	長坂 竜一	浦和レッドダイヤモンズユース (県陽高校)



総務委員会新設

「痛みを伴うこともあろうかと思う。是非とも皆様方の、ご協力・ご支援をお願いしたい」

SFAは財団法人となって5年目を迎えるが、まだ組織としても考え方としても改革が伴っていないのが現状である。そこでさらなるステップを踏むために、今年度から「総務委員会」を新設した。その委員長に、埼玉県信用金庫・個人金融部担当役員である松本利春氏をお迎えした。松本委員長自身のこと、総務委員会の今後について話を伺った。

——簡単な経歴(出身地、仕事など)を教えてください。

松本「1954年(昭和29年)3月4日生まれです。出身地は、埼玉県比企郡吉見町です。吉見町には5歳まで、その後父の転勤の関係で、所沢市、久喜市、愛知県一宮市、東京都練馬区桜台、東京都中野区中央、埼玉県八潮市、埼玉県さいたま市(旧浦和市)と居を移しました。小学校は、愛知県一宮市、中学校は、東京都練馬区、高等学校は、東京都武蔵小金井市になります。



昭和49年から旧浦和市に居を構え、昭和58年の結婚を機に、熊谷市へ転居致しました。昭和51年に埼玉県信用金庫へ入庫し、現在は、個人金融部担当役員として勤務しております」

——これまでのサッカーとの関わりを教えてください。

松本「埼玉県信用金庫の経営企画部在任当時、Jリーグが発足しました。埼玉はサッカーどころということと、Jリーグの運営理念の中に、地域社会との共生ということがありますが、地域金融機関としての埼玉県信用金庫と、理念を同じくすることから、浦和レッズのスポンサードをしたいと埼玉県信用金庫と浦和レッズとのスポンサー契約に動いたのがサッカーとの関わりとなります。その後、レッズの担当として、J2への降格、J1への昇格についても、ピッチにて直接観ておりました。駒場スタジアムでのペニャロール戦や、国立競技場でのシュツットガルト戦を“さいしんスペシャルマッチ”として実施したことが大きな思い出となっております。現在では、SFAの4種リーグ戦への協賛をさせていただいておりますが、少年少女達の明るく楽しそうにプレーをしている姿を見るのが、とても楽しみです」

——SFAの活動はご存じでしたか。

松本「直接はJリーグとのかかわりでしたので、具体的なSFAの活動内容について、知りませんでした。ミッション委員会や運営会議への参加の中で、活発に活動をされていることを肌で感じております」

～松本利春・総務委員長に聞く

新しい考え方で、常に“何故”という気持ちを

——総務委員会はSFAとしても新設の委員会です。ここでのミッションはどのようなものだと理解されていますか。

松本「総務委員会については、今後のSFAの方向性を見極める中で、大きな役割を担っていると、責任の重さを痛感しております。

特に公益法人制度の改革の中で、SFAとして進むべき方向性はどのような方向なのかということ、公益法人という立場から、より透明性の高い運営を目指す法人への転換が必須です。

ですから、新たな制度への対応と既存SFAの改革の方向性、両方を検討していかなければならないと考えております。改革・改善を行うのには、痛みを伴うこともあろうかと思いますが、時として、非常に厳しい提言をすることもあろうかと思いますが、是非とも皆様方の、ご協力・ご支援をお願い申し上げます」

——SFAの一員になられて、改めて感じることは何かございますか。

松本「SFAの一員にさせていただいたことに誇りに感じると共に、地域サッカー活性化の為に役立てればと思っております」

——SFAのメンバーに期待されることをお聞かせください。

松本「今は、いろいろな面で改善・改革を迫られる場面となっております。既存の概念を払拭し、新しい考え方で、常に“何故”という気持ちをベースに新しい方向性への取り組みを行って欲しいと思います」

——最後に抱負を一言お願いします。

松本「日本サッカー界の中で、さすがSFAと認められるような協会を作りあげていければと思います。微力ながら努力させていただきたいと思っております」

——ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。



地元金融界から“頭脳”として入っていただいたことは、SFAが財団法人として地域から認知されたと言ってもいいだろう。我々の「当たり前」が、法人としても「当たり前」のことなのかどうかを含めて、SFAの体質が問われ、かつ改善をしていく契機になると思われる。

第3回運営会議開催

9月7日、北浦和のカルトスホールにおいて、専門委員会、種別委員会、連盟、4地区の代表者が集い、第3回運営会議が開催された。前回(7月18日)に引き続き、今年度の最重要課題の一つである経理の徹底を踏まえ、各経理担当者も同席の会議となった。

宮田財務委員長からの要旨は、資料を参照していただきたい。改めて各担当者からチームに対しての連絡があることになっている。

併せて、公益法人法改正に伴う、これからのSFAとしての進み方について、松本総務委員長から話があった。

「現行制度においては、法人の設立と公益性の判断が一体化されていたが、新制度においては、法人の摂理と公益性の判断を切り離すことになった。SFAは事業行為が少ないことから、公益法人への移行も可能と考えているが、財務の透明性が問題点となるだろう。まだJFAの方向性が見えていないが、公益法人を目指し、準備していきたい」

次回は11月を予定している。

各種別からの報告

【1種】松沢喜久夫・1種委員長

登録チーム数減が課題となっている。彩の国カップを1種大会とし、決勝を埼玉で行いたい。1種としては、“夢”をどう発信していくかが大事だと思う。また、国体チーム選抜などに関しては、より積極的に関わっていきたくて考えている。

●横山専務理事より

「埼玉からさらにJを目指すチームがあってもいい。また埼玉開催については、協力していきたい」

【2種】森田洋正・県高体連委員長

高体連のチームが久しく全国優勝していない。JFAがユース年代の改革を進める中、埼玉としては全国で最低ベスト4に入るチームを輩出していきたい。結果を出さなければならないと考えている。

●横山専務理事より

「高体連そのもののレベルを上げる必要があるのではないかな。今行っているものを吟味する必要があると思う。トレセン、プリンスリーグなどを行って本当に成果が出ているのだろうか。2種の年代にとって一番いいやり方を提案していただきたい」

【3種】柏悦郎・3種委員長

JFAからリーグ戦開催を求められて、3種としては検討委員会を発足し、各地域のヒアリングを行うなどしている。埼玉としては、無理なく続けられるリーグをと考えているところだ。

またSFAとして、外部指導者の派遣、出前講座、そして大学生のインターンシップと指導者不足に対応してもらっているが、量と同時に質も考えていかなければと考えているところだ。

●横山専務理事より

「ちょうど本日より平成国際大学でインターンシップに向けての講習会が始まった。現在、約20校が受け入れを希望している。うち10校には派遣したいと考えている」

【4種】秋山和雄・4種委員長

「JFAが2012年度から全少の予選をリーグで行い、本大会を冬に持って来ようとしている。我々としては反発しているところであり、再度会議が開かれることになっている。

現在の4種は少年連盟とクラブ連盟と分かれているが、できるだけ早く一本化できるように調整しているところだ。それに伴い、4種委員会を実務もできる委員会になるよう、拡大していきたい。」

●横山専務理事より

「1本化は早くお願いしたい。委員会の拡大に関しては県教委の指示待ち。待ってほしい」

【シニア】遠山茂・シニア委員長

PHQからの助成金でトーナメントを行っている。今年からは60、ロイヤルで、女子連の協力で高校生との交流会を始めた。登録者も増え続けており活性化しているところだ。しかし、そこで問題なのはグラウンド。なかなか40、50、60が揃っての大会を開催できるような場所がない。

シニアとしては、自分たちの楽しみのために活動しているのが、他種別の普及や育成、強化という面がない。それだけに外部指導者に関しては、なかなか人材がいけないものの、声かけを行っているところだ。

●横山専務理事より

「シニアが楽しめるのは最終的な目標。環境整備について、指導者とともにグラウンドについても考えていかなければならない時期に来たかもしれない」

※ 女子、フットサルは欠席

【資料】新会計処理について(抜粋) 09.9.7(改定)

1、財団法人の予算

財団法人の予算は、評議員会、理事会の承認を得て、それぞれの事業を最少の経費で最大の効果を上げるように遂行しなければならないもので、その使途と支出の証明方法は、民間企業と何ら変わるものでない。

法人経理は、債権発生主義を原則として、1年間の事業ボリュームと年度末における正味財産額の増減で評価されるしくみになっている。

財団法人の収支についても5年に1度は管轄税務署の調査対象とされるだけに、下記のことは全ての事業費の執行にあたって遵守すべきことである。

また、収入の主たる部分の登録費は、選手とその父兄が負担していることから、心情的に反する支払いは、避けなければならない。



3種のリーグをどうする？ Ⅱ

～第3種委員会・第3回、第4回リーグ戦検討委員会を振り返る～

前号で検討委員会の会議内容を紹介したが、今号ではこの委員会の都所亮介委員長（鳩ヶ谷市八幡中学校）にその後の展開をお伺いした。

指導現場の環境改善も

— 3回目の会議は7月4日に開催されました。東部から説明がありましたね。

都所 東部から早川和夫さん（春日部・大増中）に説明してもらいました。2月と3月でU-13、14リーグをトップとセカンドリーグという形でやっているとのことでした。U-15は高円宮杯があり、行っていないそうです。概ね、リーグ戦には好意的ですが、リーグでの結果を何かにつなげたいとか、他地区やクラブとの練習試合ができないという意見もあるようです。あとサッカー部の顧問は1日拘束されるからと敬遠されているという話も出ました。— リーグ戦がいいというのは理解してもらっているんですね。ただ1日拘束されてしまうというのは、問題ですね。1日でいくつも試合をこなすとなると、あっと言う間に1日が潰れてしまいます。やはり1会場1試合で、Bチームなどの試合を行うというのが、選手も楽しめ、指導者の負担もないのではないのでしょうか。

都所 確かに指導者不足ということが3種の課題であり、SFAからもサポートしてもらっています。それだけでなく、現場の環境改善も平行して行わなければなりませんね。

「リーグ戦の日」を制定

— 続いて4回目は8月29日でしたね。

都所 まず西部からは奥貴勝人さん（坂戸・坂戸中）からの報告でした。上からチャンピオンズリーグ（各都市の優勝チーム）、スーパーリーグ、セカンドリーグ（東A、東B、西）、そして都市リーグと分かれて、12月から6月まで行っているそうです。U-14でスタートしながらも、そのままU-15に移行するんですね。また、毎月第3土曜を『西部地区リーグ戦の日』と定めて、1回総当たりだそうです。

— 前回は西部の取り組みを「長くしてもらえれば」という坂庭さんの話もありました。なかなか積極的な取り組みですね。リーグ戦の日というのも新鮮です。

都所 西部でもリーグ戦は好評でした。特に東武東上線と西武線沿いでの交流もできてよかったとのことでした。ただ、バスの移動は交通費も含めて大変だという声もあり、中には親の車での移動も不可という中学もあったことには驚きました。あとは審判の質の問題や、結果の集約が滞ってしまい、自分たちの順位が分からぬまま次の試合ということもあったそうです。

あと、さいたま市から宮田好之さん（白幡中）の報告もありました。チームで抱えている選手の数でリーグを作り、ホーム＆アウェイで行っているそうです。

— 南部はいかがですか。

都所 各エリアでU-14のリーグ戦を行っています。川口・草加・蕨・鳩ヶ谷・戸田、新座・和光・志木・朝霞、鴻巣・桶川・北本・伊奈、そして単独で上尾。上尾だけがクラブも入って行っています。川口と鴻巣のグループでは最後にトーナメントを行ったり、新座のグループでは力に応じてのグルーピングし、入れ替え戦も行っているようです。

他の部との折り合いも

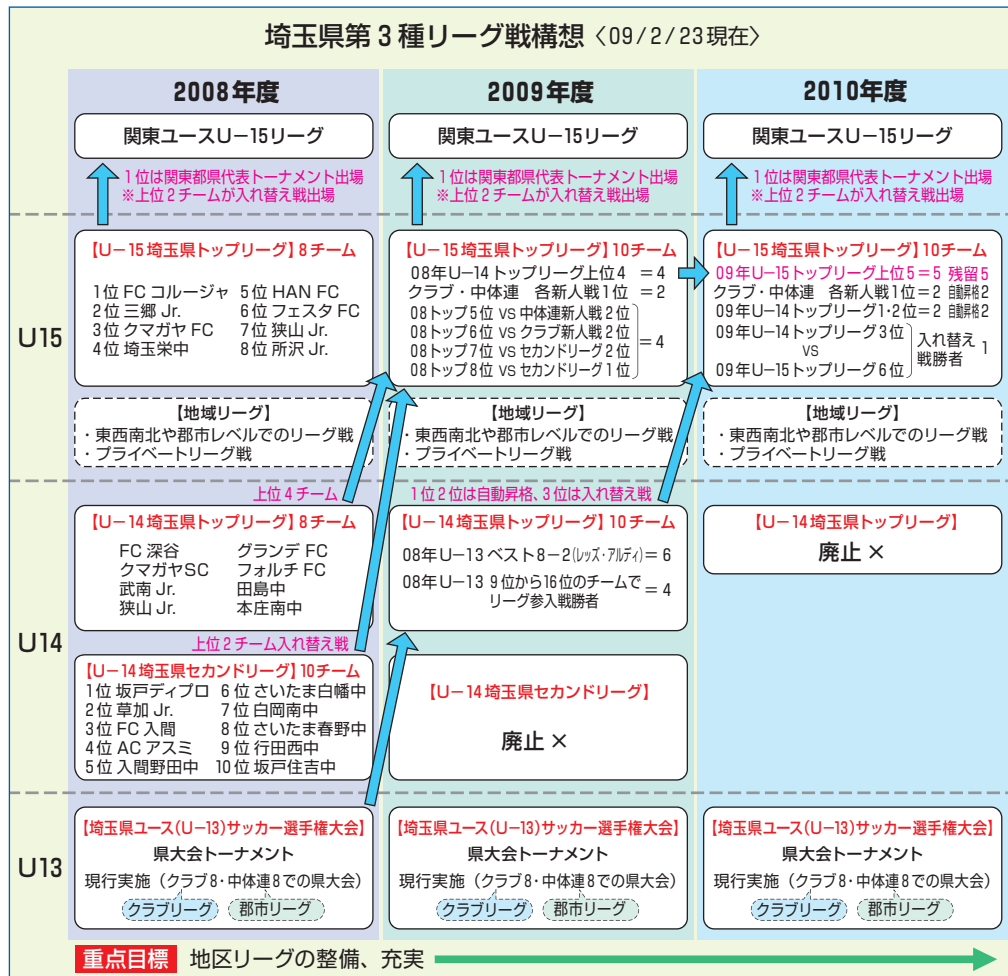
— これらのヒアリングから見えてきたものはありますか。

都所 多くのチームから賛同は得られていると思います。今回、吉見中が関東大会に出場しましたが、このリーグの成果だとも聞かれました。

あとはできるだけ長く、それもホーム＆アウェイでという話をしたときに、やや腰が重くなるのかなと思っています。それが、指導者への負担だったりすると思うのです。この軽減は検討すべきとは思っています。また長く、という面においては他の部活との兼ね合いもあります。他は学校総体が終わったら「引退」するのにサッカーだけ、というのは気が引けますし、保護者も悩むところだと思えます。こういうことも配慮しなければなりません。

現状では来年度の方向性は決まっていますが、できれば今年度中には、その先の話ができるようにしたいと考えています。

● 地域の実状を理解しなければ、なかなか先には進めないのは当然のことだ。移動の手段、指導者の負担、そして他の部との兼ね合い……。そういう問題点を出していきながら「ではどうすればいいか」。夢を描きながら、話し合いはしばらく続くようだ。



大会記録●県内大会

1種・社会人

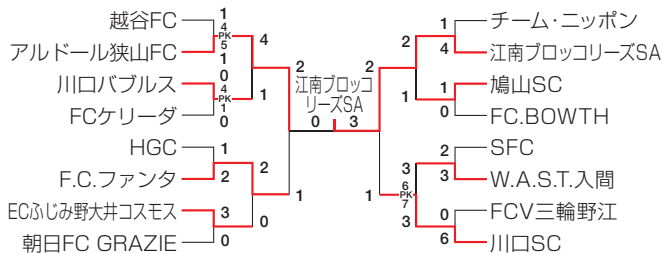
埼玉県社会人リーグ1部

● 9月22日現在

順位	チーム名	勝	負	分	得失点差	勝点
1	坂戸シティー	9	2	0	+20	27
2	パイオニア川越	7	1	3	+21	24
3	飯能セボジータス	6	5	0	+4	18
4	浦和レッズアマ	4	5	2	-15	14
5	FC西武台	3	4	4	-4	13
6	アヴェントゥーラ川口	3	4	4	-4	13
7	越谷FC	2	7	2	-15	8
8	川口SC	1	7	3	-7	6

第16回全国クラブチームサッカー選手権大会 埼玉県大会

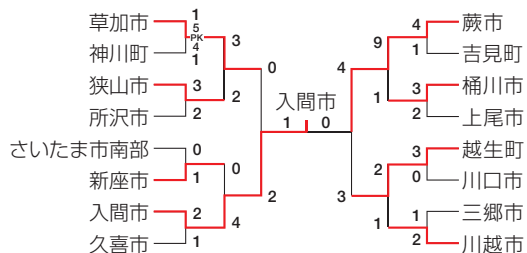
5月31日～7月19日 埼玉スタジアム第4ほか



※江南ブロッコリースAは初優勝。9月に東京都で行われる関東大会に出場する。

市町村対抗県民総合体育大会

7月26日～9月6日 熊谷文化公園多目的広場ほか

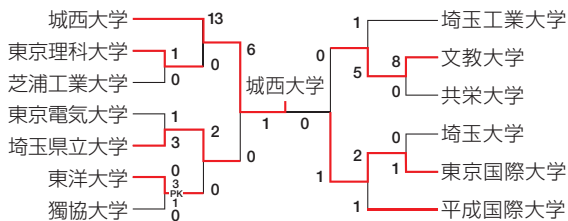


※入間市が優勝。同時に準優勝の蕨市とともにフェアプレー賞を受賞。

大学

平成21年度 彩の国カップ・埼玉県大学代表決定戦

5月10日～6月28日



※城西大学が本大会に出場。



決勝 城西大学—東京国際大学

2 種

平成21年度埼玉県U-18 S1リーグ

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	大宮アルディージャ	6	1	0	18	+22
2	埼玉栄	4	2	1	13	+6
3	西武台	3	2	2	11	+2
4	市立浦和	3	2	2	11	+1
5	浦和南	3	3	1	10	-2
6	川越南	3	3	1	10	-3
7	大宮南	0	3	4	4	-6
8	伊奈学園	0	6	1	1	-20

※優勝した大宮アルディージャユースは、来年度のJFAプリンスリーグU-18関東参入決定戦に出場。

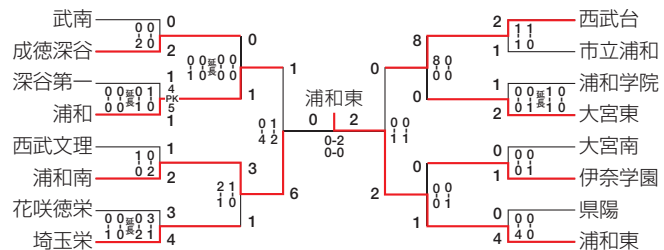


川越南一伊奈学園

高校

平成21年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技埼玉県予選

5月16日～6月21日 駒場スタジアムほか



※優勝した浦和東と準優勝の浦和南は、8月に行われる本大会に出場する。



決勝 浦和東一浦和南

●平成21年度全国高等学校総合体育大会埼玉県予選を振り返って
(財)埼玉県サッカー協会2種技術委員 武田 直樹(栄北高校)

5月16日から6月21日にかけて平成21年度全国高等学校総合体育大会埼玉県予選が開催された。プリンスリーグ参加2チーム、関東大会参加2チーム、また各地区から勝ち上がったチームの合計42チームによるトーナメント方式により行われ、優勝は浦和東、準優勝は浦和南、3位に浦和と西武台という成績で終わった。この結果、浦和東が2年連続6回目、浦和南は19年ぶり11回目の切符を手にした。

大会を振り返ってみると、昨年全国出場の埼玉栄と正智深谷、選手権出場の浦和市立、今年度関東出場の西武台と埼玉栄、そしてプリンスリーグ参加の武南・浦和東と経験のあるチームが揃う中、準決勝へ進めたのが浦和東と西武台両校のみという厳しい戦いとなった。これらのチームを破り、また肉薄した浦和、伊奈学園、成徳深谷などのチームは、今後の選手権予選が楽しみである。特に注目されたのが、師弟対決となった武南(大山監督)ー成徳深谷(為谷監督)。為谷監督は、教え子としては初めて大山監督に勝利した。

さて、決勝の両チームだが、浦和東はフィジカルにおいてどのチームよりも勝っていた。また、特に勝ちにこだわるという点で、先取点を取ってからは決して無理をせず、幅を使ったサイドチェンジを有効に使い、GKも含めたポゼッションで相手をじらし、自分たちの有利な態勢で仕掛けるといった試合運びが印象的であった。さらに決勝戦の2得点のように、セットプレーは得点の要因を感じた。全国へ向けて、更に精度を高め大きな得点源にしてほしい。浦和南も全体的にバランスがよく、個々がしっかりと球際で勝負し負けなかった。後半になってもスピードあるサイド攻撃を見せ、得点の可能性を感じさせた。ただ、全国へ向けては最後のシュートの精度を高めたいところである。

全体的には、スーパーな選手がチームを引っ張るというより、11人個々がフィジカル的に鍛え上げられ、献身的に球際において負けない、相手を自由にさせないプレーを1試合通して続けたチームが勝利できたのではないだろうか。

また、コンディション作りにおいても、トレーニングする平日は雨で気温も低く、試合当日は気温が上がり、選手にとっては難しかったのではないだろうか。日頃鍛え上げられている選手でも後半足がつる選手が出てきて、監督にとっては交代やプランの変更など頭を悩ませたのではないかと。実力あるチームが多くなってきた埼玉で代表になり、全国で勝ち抜くには、全員がハードワークしなければならぬであろう。特に、昨年来全国経験のある選手や個の優れた選手は、その中で良いパフォーマンスを見せて、競った試合やリードされているゲームを勝利へ導いてほしい。

最後に浦和東・浦和南の両校は埼玉の代表として、また各々の伝統と経験をいかして全国で勝負し、頑張ってくれることを期待したい。

クラブ

平成21年度彩の国カップ・2種クラブ選手権

6月20日、25日

大宮アルディージャ	2	大宮アルディージャ
浦和レッズ	7	
ACフューロ	0	

※大宮アルディージャユースが本大会に出場

3種

第2回埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ

●8月31日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	大宮FC	3	0	1	9	+10
2	GRANDE	3	0	0	9	+9
3	狭山Jr	2	1	1	7	+6
4	ディプロマッツ	2	1	0	7	+3
5	武南Jr	2	0	2	6	-1
6	HAN	1	1	2	4	-2
7	草加Jr	1	1	2	4	-4
8	常盤中学校	1	1	3	4	-14
9	FC深谷	0	1	2	1	-3
10	クマガヤSC	0	0	2	0	-4

第3回埼玉県ユース(U-14)サッカーリーグ

●9月8日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	FESTA	3	1	0	10	+6
2	クマガヤSC	2	1	0	7	+10
3	HAN	2	1	0	7	+8
4	プレジール	2	1	1	7	±0
5	KAMUI	2	0	2	6	+9
6	KASUKABE	2	0	1	6	+6
7	南浦和中	1	0	2	3	-2
8	本太中	1	0	3	3	-5
9	入間野田中	0	0	3	0	-15
10	春日部大増中	0	0	3	0	-18

中学

平成21年学校総合体育大会中学校サッカーの部

7月19日～27日 東松山岩鼻サッカー場ほか

埼玉栄	5	3	さいたま白幡	1	0	幸手西	0
伊奈	1	1	さいたま原山	1	1	さいたま野東	1
新座	2	1	さいたま白幡	2	0	入間野田	0
吉川東	3	1	さいたま白幡	1	2	蕨第二	3
杉戸	1	0	さいたま白幡	0	0	新座第二	0
さいたま白幡	0	1	さいたま白幡	4	0	狭山堀兼	4
吉見	6	2	さいたま白幡	2	2	川口芝東	2
所沢安松	1	1	さいたま白幡	3	3	さいたま原山	3

※優勝したさいたま市立原山中と準優勝した吉見町立吉見中が8月の関東大会に参加する。



決勝 さいたま市立原山ー吉見

女子

第17回埼玉県女子サッカーリーグ大会

1部リーグ(9月13日現在)

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	武蔵丘短期大学	33	11	11	0	0	+61
2	尚美学園大学	15	7	5	0	2	+13
3	大東文化大学・楓	7	8	2	1	5	-14
4	FC.JAM-G	4	5	1	1	3	-6
5	大宮FCエンジェルス	4	6	1	1	4	-30
6	エルフェン・マリ	3	4	1	0	3	-2
7	戸木南ボンパーズ	3	3	1	0	2	-10
8	SEフィリアFC	1	4	0	1	3	-12

第 6 回埼玉県女子U-15リーグサッカー大会 上位リーグ(9月5日現在)

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	浦和レッズJrユース	24	8	8	0	0	+36
2	大宮エンジェルスU-15	18	8	6	0	2	+16
3	戸木南ボンバーズFC	18	10	6	0	4	+7
4	エルフェン狭山マリ	15	6	5	0	1	+24
5	FC JAM-G	15	8	5	0	3	+8
6	白岡SCL	13	8	4	1	3	+4
7	越谷レディースF	7	10	2	1	7	-15
8	FC熊谷女子	7	10	2	1	7	-29
9	河内ジュベニール	5	6	1	2	2	-11
10	吉見エスカーラFC	5	8	1	2	5	-17
11	パシールFC	4	8	1	1	6	-23

第31回埼玉県女子サッカー選手権大会

6月7日～7月12日 埼玉スタジアム第3グラウンドほか
代表決定戦

武蔵丘短期大学 (一般 1 位)	10	2	尚美学園大学
埼玉平成高校 (高校 2 位)	0		
尚美学園大学 (一般 2 位)	6	3	
本庄第一高校 (高校 1 位)	1		

※優勝した尚美学園大学は関東大会に出場。



決勝 尚美学園大学－武蔵丘短期大学

第31回埼玉県女子サッカー選手権大会・レディースの部

6月12日～28日 武蔵丘短期大学ほか

	FC.BB	上里女子	北坂戸	コスモス	勝点	得失点差	順位
FC.BB	*	○2-0	△0-0	○3-0	7	+5	1
上里女子FC/パワーズ	●0-2	*	△1-1	○3-0	4	+1	2
北坂戸レディース	△0-0	△1-1	*	△1-1	3	±0	3
FC浦和コスモス	●0-3	●0-3	△1-1	*	1	-6	4

※FC.BBと上里女子FCパワーズは、8月の第21回レディースサッカー大会 関東地区予選大会に出場する。

第 5 回埼玉県女子ユース(U-18)サッカー選手権大会

6月27日～8月30日 埼玉スタジアム第2グラウンドほか
決勝トーナメント

浦和レッズJrユースレディース	11	9	浦和レッズJrユースレディース
FC JAM-G	0		
埼玉栄高校	1	3	
久喜高校	4		
本庄第一高校	6	0	0
戸木南ボンバーズFC	0		
エルフェン狭山マリ	4	4	
埼玉平成高校	0		

※優勝した浦和レッズJrユースレディース(第一代表)と準優勝のエルフェン狭山マリ(第二代表)は10月3日から茨城県で開催される、第13回関東女子ユース(U-18)サッカー選手権大会に出場。



決勝 浦和レッズ Jr ユースレディース－エルフェン狭山マリ

第 7 回関東ガールズエイト(U-12)サッカー大会 埼玉県代表決定トーナメント

7月18日、19日 西遊馬運動公園

蕨荻キッカーズ女子	0	2	戸木南ボンバーズFC 3 0	1	1	3	吉見エスカーラF.C.	
浦和ラッキーズFC	1					1	狭山アゼリアFC	
TSガールズ	2	0				1	SEフィリアFC	
寄居女子S.C.	1	2				東大宮エンジェルス		
戸木南ボンバーズFC	3	3PK3	2 2 3PK4	1	4	2	川越女子Jr.S.C.	
熊谷リリース	0					3	1	深谷女子サッカー
籠原女子サッカー	2	0				2	2	S.C.和光ベレーザ
上福岡少年少女S.C.	2	3PK3				1	3	1

※優勝した戸木南ボンバーズを含む上位4チームが本大会に出場する。

シニア

シニア40南部リーグ

● 8月23日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	東春	7	2	1	23
2	浦和	6	4	0	22
3	NTT	6	2	1	20
4	与野	5	2	3	17
5	所沢	4	4	1	16
6	越谷	4	2	3	14
7	川口	3	4	2	13
8	川越	4	1	4	13
9	パルス	2	6	1	12
10	新明	2	4	3	10
11	八潮	2	3	5	9
12	蕨	2	2	5	8
13	鴻巣	1	3	5	6
14	大宮	1	1	8	4
15	戸田	0	2	7	2

シニア40北部リーグ

● 8月30日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	東松山OP	11	0	0	33
2	鳩山	8	2	1	26
3	本庄	8	1	2	25
4	児玉	7	1	3	22
5	秩父	6	3	1	21
6	熊谷	4	5	3	17
7	行田	5	0	6	15
8	東松山P	4	2	5	14
9	深谷	3	4	4	13
10	吉見	3	1	7	10
11	寄居	3	1	8	10
12	小鹿野	1	5	5	8
13	めぬま	1	4	6	7
14	セントラル	2	1	8	7
15	小川	1	2	8	5

シニア 50サッカーリーグ

● 9月6日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
1	パルス	11	2	1	35
2	本庄	10	2	2	32
3	NTT	10	2	2	32
4	浦和市長	10	1	3	31
5	川越	8	3	2	27
6	与野	6	6	2	24
7	春越	6	4	4	22
8	所沢	5	5	3	20
9	鴻巣	4	6	4	18

順位	チーム名	勝	分	負	勝点
10	深谷	4	2	7	14
11	大宮	3	5	5	14
12	川口	3	5	5	14
13	熊谷	3	3	7	12
14	浦和	4	0	10	12
15	セントラル	1	6	7	9
16	蕨	2	2	9	8
17	東松山P	1	4	9	7
18	戸田	1	2	10	5

2009年度埼玉県シニア 60リーグ

● 7月12日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	バルス	5	1	2	16	+4
2	F F C	4	2	2	14	+5
3	ポラリス	2	3	3	9	-2
4	Gファイター	1	2	5	5	-7

フットサル

第9回埼玉県フットサルリーグ1部

● 8月1日現在

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	Pure City IMPERIO	5	0	1	16	+21
2	烏天狗	4	0	1	13	+11
3	ロクFC	3	3	0	9	+7
4	FFC Estrela	2	1	2	8	-3
5	坂戸龍門	2	2	1	7	+2
6	pal'u:wo	1	3	1	4	-5
7	マカブ〜	1	3	1	4	-9
8	川越水上公園	1	3	1	4	-13
9	F & F	0	4	2	2	-11

6回埼玉県女子フットサルリーグ

● 1stステージ終了現在

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	dolce da donna	5	1	1	16	+29
2	FFC Estrela NOVO	5	1	1	16	+17
3	武蔵浦和FC	4	1	2	14	+7
4	CHU-BAR	4	2	1	13	+19
5	り〜すなぶる。	4	3	0	12	±0
6	ロクFC・Grama	2	4	1	7	-5
7	I.F.C/ems	1	6	0	3	-20
8	FILHO Ladies	0	7	0	0	-47

第6回全日本女子フットサル選手権大会埼玉県大会

8月22日、23日 宮代町総合運動公園総合体育館

FFC Estrela NOVO 埼玉	6	0				
FILHO Ladies	0	0	6			
ロクFC Grama	0	0	5			
CHU-BAR Futsal	不戦	0	0			
dolce da donna	12	4				
Cerchio/Fuoriclasse	0	4				
I.F.C/ems	3	1				
武蔵浦和FC	5					
FFC Estrela NOVO 埼玉	4	2				

※優勝したエストレーラと準優勝のドルチェは、9月の関東大会に出場する。

大会記録●県外大会

1種

2009関東サッカーリーグ

1部●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	NPO横浜スポーツ&カルチャークラブ	10	1	3	31	+19
2	日立栃木ウーヴァSC	10	1	3	31	+14
3	クラブドラゴンズ	9	1	4	28	+11
4	さいたまサッカークラブ	8	3	3	27	+11
5	海上自衛隊厚木基地マーカー	6	2	6	20	+4
6	FC KOREA	4	1	9	13	-18
7	AC アルマレッザ	4	0	10	12	-17
8	ホンダミッドランド狭山FC	0	1	13	1	-24

<個人表彰>ベストイレブン DF 石丸皓三(さいたまSC)

2部●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	ヴェルフェたかはら那須	12	1	1	37	+22
2	tonan 前橋	10	0	4	30	+24
3	S.A 市原サッカークラブ	9	1	4	28	+8
4	東邦チタニウムサッカー部	6	4	4	22	+4
5	エリスフットボールクラブ東京	7	1	6	22	+3
6	日立ビルシステムサッカー部	4	1	9	13	-20
7	神奈川県教員サッカークラブ	2	1	11	7	-15
8	与野蹴魂会	1	1	12	4	-26

第45回全国社会人サッカー選手権大会 関東予選

6月28日	さいたまSC	0-4	tonan前橋
	パイオニア川越	1-0	CERVEZA FC東京
	坂戸シティー	8-2	揚茜クラブ
	浦和レッズアマチュア	1-2	群馬教員SC
7月5日	パイオニア川越	2-3	東邦チタニウム
	ホンダミッドランド狭山	3-2	坂戸シティー
	ACアルマレッザ	4-0	与野蹴魂会
7月12日	ホンダミッドランド狭山	0-2	FCコリア
	ACアルマレッザ	1-3	海自厚木マーカー

※埼玉から本大会への出場チームはなし

自治体

第39回全国自治体職員サッカー選手権大会南関東地区予選

6月19日〜21日 神奈川県立体育センターローン球技場ほか

さいたま市役所(埼玉県1位)	2	5	4			
平塚市役所(神奈川県3位)	1	1	0	4		
千葉県庁(千葉県2位)	0	0	0	1		
茅ヶ崎市役所(神奈川県2位)	1	0	2	0	0	
船橋市役所(千葉県1位)	0	1	2	0	2	
所沢市役所(埼玉県2位)	2	2	5	7	3	
我孫子市役所(千葉県3位)	1	2	0	0	0	
横浜市役所(神奈川県1位)	1	1	1	0		
所沢市役所	0					

※優勝した所沢市役所を含め、上位3チームが本大会に出場。

第39回全国自治体職員サッカー選手権大会

7月24日〜29日 前橋総合運動公園陸上競技・サッカー場ほか

1回戦	所沢市役所	3-0	福岡市役所
2回戦	所沢市役所	2-0	富山県庁
準々決勝	所沢市役所	0-2	釧路市役所

※優勝は東京消防庁

2種

JFAプリンスリーグU-18関東

●1部(全日程終了)

順位	チーム名	勝点	勝	負	分	得失点差
1	FC東京U-18	27	8	0	3	+16
2	三菱養和サッカークラブユース	23	7	2	2	+16
3	横浜F・マリノスユース	22	7	3	1	+20
4	東京ヴェルディユース	18	6	5	0	+10
5	桐光学園高校	18	5	3	3	-1
6	流通経済大学付属柏高校	17	5	4	2	-6
7	浦和レッドダイヤモンズユース	17	5	4	2	-6
8	ジェフユナイテッド市原・千葉U-18	14	4	5	2	-6
9	前橋育英高校	13	4	6	1	-2
10	鹿島アントラーズFCユース	10	3	7	1	-4
11	矢板中央高校	8	2	7	2	-17
12	鹿島学園高校	1	0	10	1	-20

JFAプリンスリーグU-18関東

●2部 順位決定戦

7月5日 7位決定戦 浦和東高校 1-3 桐蔭学園高校
6位決定戦 武南高校 2-1 佐野日本大学高校
(延長)
7月12日 4位決定戦 武南高校 2-1 日本航空高校
8位決定戦 浦和東高校 3-0 國學院大學久我山高校

※武南高校は来年度1部昇格、浦和東高校は2部に残留。



4位決定戦 武南-日本航空



8位決定戦 浦和東-國學院久我山

平成21年度日本クラブユースサッカー選手権U-18関東1次予選

4月12日～5月10日

1部リーグ	勝	負	分	勝点	得失点差	順位
大宮アルディージャ	3	1	1	10	+6	1
柏レイソル	3	2	0	9	+10	2
川崎フロンターレ	2	1	2	8	+11	3
横河武蔵野FC	2	1	2	8	+4	4
横浜FC	0	2	3	3	-5	5
FCトリプレッタ	1	4	0	3	-26	6

3部リーグ③	勝	負	分	勝点	得失点差	順位
OSA	4	1	1	13	+12	1
西多摩SSS	3	1	2	11	+5	2
ACフツロ	2	2	2	8	±0	3
駒沢FC	2	2	2	8	-5	4
INAC多摩川	2	3	1	7	-5	5
相模原FC	2	4	0	6	-3	6
フォルマーレ	1	3	2	5	-4	7

※大宮アルディージャユースが2次予選に進出。

平成21年度日本クラブユースサッカー選手権U-18関東2次予選

5月21日～6月21日

Bグループ	勝	負	分	勝点	得失点差	順位
東京ヴェルディ	4	0	1	13	+20	1
柏レイソル	4	1	0	12	+16	2
浦和レッズ	3	2	0	9	+1	3
栃木SC	2	2	1	7	+3	4
ザスパ草津	1	4	0	3	-24	5
FC川崎栗の木	0	5	0	0	-16	6

Cグループ	勝	負	分	勝点	得失点差	順位
FC東京	5	0	0	15	+31	1
湘南ベルマーレ	3	1	1	10	+21	2
大宮アルディージャ	3	1	1	10	+12	3
横浜FC	2	3	0	6	+1	4
常総アイデンティ	1	4	0	3	-28	5
FC町田ゼルビア	0	5	0	0	-37	6

※浦和レッズユース、大宮アルディージャユース、共に順位決定戦に進出。

平成21年度日本クラブユースサッカー選手権U-18関東大会

6月27日、28日 那須スポーツパーク

9～12位決定戦

JEF市原千葉 (Aグループ3位)	0	0
横河武蔵野FC (Dグループ3位)	2	0
浦和レッズ (Bグループ3位)	2	0
大宮アルディージャ (Cグループ3位)	2	0

※優勝は東京ヴェルディユース。上位9位までが本大会に出場。

3種

第40回関東中学校サッカー大会

8月8日～10日 ニッパツ三ツ沢球技場ほか

1回戦 さいたま市立原山中 5-0 千葉市立泉谷中
準々決勝 さいたま市立原山中 1-1 高崎市立榛名中
(5PK6)

5位決定戦 さいたま市立原山中 2-1 下野市立南河内第二中

※優勝は桐蔭学園中。上位7チームが本大会に出場。

クラブ

第15回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 兼 第24回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・関東予選

6月27日～7月19日 鹿島スタジアムほか

1回戦 クマガヤSSC 2-1 湘南ベルマーレ小田原
GRANDE FC 1-3 FC古河
三郷Jr 0-4 ジェフ市原・千葉
坂戸ディプロマツ 0-3 FC厚木DREAMS
狭山FC 4-3 FCラーゴ河口湖
FC KASUKABE 5-0 朝霞エスデレーラ
KAMUI Jr 0-3 ヴェルディ小山
2回戦 クマガヤSSC 3-0 FC古河
浦和レッズ 5-0 三菱養和SC調布
狭山FC 1-3 ジェフ市原・千葉習志野
FC KASUKABE 0-3 FC東京深川
大宮アルディージャ 0-2 FC多摩
3回戦 クマガヤSSC 1-6 東京ヴェルディ
浦和レッズ 1-4 川崎フロンターレ
9位決定戦 浦和レッズ 2-0 クマガヤSSC
浦和レッズ 3-1 ジェフ市原・千葉
浦和レッズ 2-1 柏イーグルス

※優勝はジェフ市原・千葉習志野。浦和レッズジュニアユースは第9代表として本大会に出場。

4種

第33回関東少年サッカー大会

8月22日、23日 昭和村総合運動公園ほか

Bブロック	ヴェルディ	浦和	呑竜	勝点	得失点差	順位
東京ヴェルディジュニア	*	○1-0	○6-0	6	+7	1
FC浦和	●0-1	*	○5-0	3	+4	2
呑竜FC	●0-6	●0-5	*	0	-11	3

Cブロック	バディー	戸塚	群馬境	勝点	得失点差	順位
バディーFC	*	○4-1	○8-0	6	+11	1
戸塚フットボールクラブジュニア	●1-4	*	○3-0	3	±0	2
FC群馬境ジュニア	●0-8	●0-3	*	0	-11	3

Hブロック	鹿島	アビススタ	大和北	勝点	得失点差	順位
鹿島アントラーズつくばジュニア	*	△2-2	△1-1	2	±0	1
FCアビススタ	△2-2	*	△1-1	2	±0	2
大和北FC	△1-1	△1-1	*	2	±0	3

●2位バート 順位トーナメント

荏岐東	1	1	1	1
FC浦和	4	2	0	0
戸塚FC	1	0	1	0
アルピーノ	0	0	1	1
CLOUD	0	0	0	0
パーシモン	0	0	0	0
ラーコ・河口湖	0	0	0	0
アビススタ	0	0	0	0

※FC浦和が2位バートで優勝

女子

ブレナスなでしこリーグ

●ディビジョン1（9月21日現在）

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	浦和	44	17	14	2	1	+30
2	ベレーザ	35	17	11	2	4	+25
3	INAC	33	17	10	3	4	+22
4	マリーゼ	28	17	9	1	7	+5
5	JEFL	19	17	6	1	7	-20
6	湯郷ベル	17	17	4	5	8	-4
7	新潟L	16	17	4	4	10	-13
8	FC高槻	2	17	0	2	14	-45

●ディビジョン2（9月21日現在）

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	伊賀FC	45	17	15	0	2	+70
2	福岡AN	43	17	14	1	2	+70
3	AS狭山	40	17	13	1	3	+52
4	大原学園	19	17	5	4	8	-11
5	清水第八	18	17	4	6	7	+3
6	パニーズ	15	17	4	3	10	-27
7	J鹿児島	11	17	3	2	12	-35
8	R熊本	4	17	1	1	15	-122

第15回関東女子サッカーリーグ

●9月13日現在

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得失差
1	早稲田大学	30	12	10	0	2	+36
2	日テレ・メニーナ	27	12	9	0	3	+28
3	神奈川大学	24	12	7	3	2	+17
4	浦和レッズJr.Y	22	11	7	1	3	+10
5	日本体育大学	20	12	6	2	4	+20
6	FC PAF	7	11	2	1	8	-11
7	東京女子体育大学	7	12	2	1	9	-32
8	横須賀シーガルズ	0	12	0	0	12	-68

第18回関東高等学校女子サッカー選手権大会

6月13日～21日 フクダ電子スクエアサッカー場

1回戦	川口総合	4-0	小山城南
	久喜	8-0	宇都宮女子
2回戦	川口総合	1-2	村田女子
	本庄第一	1-0	修徳
	埼玉平成	1-0	八千代松陰
	久喜	2-3	湘南学院
		(延長)	

準々決勝 本庄第一 2-1 埼玉平成

準決勝 本庄第一 1-2 湘南学院

3位決定戦 本庄第一 0-3 日本航空

順位決定戦 埼玉平成 1-2 成立学園

※優勝は湘南学院。本庄第一を含む上位7チームが本大会に出場する。

第14回関東女子ユース（U-15）サッカー選手権大会

6月27日～7月5日 小瀬スポーツ公園補助競技場ほか

1次ラウンド

Aグループ	浦和	ジェフ	横須賀	フィオーレ	勝点	得失差	順位
浦和レッズJrユースL	*	△1-1	○3-0	○8-0	7	+11	1
ジェフ市原・千葉U-15	△1-1	*	○1-0	○5-0	7	+6	2
横須賀シーガルズJOY	●0-3	●0-1	*	○3-0	3	-1	3
フィオーレ武蔵野FC	●0-8	●0-5	●0-3	*	0	-16	4

決勝トーナメント

浦和レッズJrユースレディース	6	
十文字中学校	1	3
スフィーダ世田谷FC	5	1
栃木SCブランカ	0	6
ホワイスターJW昭和	2	0
つくばFCレディース	1	0
大和シルフィード98	0	5
ジェフ市原・千葉U-15	3	1

※優勝した浦和レッズジュニアユースレディースを含めた4チームが8月の本大会に出場する。

第7回関東ガールズエイト（U-12）サッカー大会

8月22日、23日 草津町町営グラウンド

グループB

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	戸木南	4	1	0	13	+13
2	南大沢	4	0	1	12	+14
3	松戸	2	1	2	7	+2
4	前橋南	2	0	3	6	-2
5	東小沢	2	0	3	6	-7
6	武田ブルー	0	0	5	0	-20

グループD

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	浦和	4	1	0	13	+12
2	古河なでしこ	3	1	1	10	+2
3	相模原	3	0	2	9	+2
4	館林	2	1	2	7	+1
5	河内	1	1	3	4	-1
6	山中湖	0	0	5	0	-16

グループC

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	曽谷	3	1	1	10	+5
2	吉見	3	1	1	10	+2
3	すすき野	3	0	2	9	+8
4	はやぶさ	2	1	2	7	+3
5	吉井	1	2	2	5	-5
6	RJC古河	0	1	4	1	-13

グループE

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	厚木	3	1	1	10	+15
2	三里塚	3	1	1	10	+9
3	和光	3	1	1	10	+7
4	なかの	1	3	1	6	+5
5	エスバランサ	0	3	2	3	-3
6	関南	0	1	4	1	-33

※戸木南ボンバーズと浦和ラッキーズがグループ優勝

フットサル

関東フットサルリーグ1部

●9月22日現在

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	FUGA TOKYO	7	1	2	23	+18
2	ZOTT WASEDA	6	2	2	20	+6
3	マルバ	6	3	1	19	+11
4	Artista 埼玉	4	4	2	14	+2
5	CAFURINGA 東久留米	4	5	1	13	+10
6	Black Shorts	3	6	1	10	-22
7	FIRE FOX FUCHU	2	6	2	8	-14
8	FUTURO	2	7	1	7	-11

関東フットサルリーグ2部

●9月21日現在

順位	チーム名	勝	負	分	勝点	得失点差
1	コロナ/権田	6	0	1	19	+20
2	UFCJAZZSPORT新横浜	5	1	1	16	+9
3	KASHIWA TOR'08	5	2	1	16	+8
4	Iwatsuki Futsal Club/tzk	4	3	1	13	+7
5	Snr EAGLES 千葉	4	2	1	13	+6
6	三栄不動産FC宇都宮	4	3	0	12	+2
7	ミリオネア 横浜	2	3	3	9	-5
8	大洋薬品 BANFF TOKTO	2	5	1	7	-5
9	N.U.FantarsSALL-TRAP	2	4	1	7	-7
10	NOVO MENTE	2	5	1	7	-10
11	BFC KOWA OIZUMI	1	4	2	5	-9
12	SELECTIVO de OHARA	1	6	1	4	-16

2009年度第1回「市町協会理事長会議」開催

7月5日、今年初めての市町協会理事長会議が開催された。出席者は27名。今年度のSFAと各専門委員会の方針が説明され、理事会の報告がなされた。

市町協会からは、所沢市FA福島功理事長から「芝生のグラウンドを確保するための取組み状況について」の報告、滑川町FA小原由之理事長からは「中学校の外部指導者の現状及び中高と地元協会との連携について」の質問があった。特に福島理事長から「33万都市で芝生のグラウンドがないのは全国で所沢だけ」という話に、所沢での環境改善に向けた必死な取り組みが参加者にも伝わった。

懇親会では、執行部と理事長の皆さんだけでなく、各理事長の皆さんの横の繋がりが広がったのではないだろうか。今後とも各市町協会と手を取り合って埼玉のサッカーを盛り上げていきたいものだ。



JFAスポーツマネージャーズカレッジ 埼玉県サテライト講座について

SFAで2年目の開催を迎えるSMCサテライト講座では、受講生が活動している各々の現場での自分たちの使命(ミッション)を考えて頂き、将来の姿(ビジョン)を描くところから始まります。具体的には、ビジョンを一つの行動計画に落とし込んで流れの中で学習いたします。学習といっても先生から提供されるいろいろなヒント、情報により、受講生に考えていただく方式です。ビジョンを描いて、それをどのように実現するかという見方を学びます。つまり、「答えを提供する場」ではなく、「共にあるべき姿を考える場」としてしています。手を動かしながらその姿を描きますが、相互にアイデアを出しあい、刺激し合うことで、その達成までの多様性をまなび、自身に必要なことが見えてくるように構成されています。

また、SFAではこのサテライト講座に加えて特別に公開講座および財務講座を加えて、計画を経営運営できるよう構成されております。今年度の講座募集開始は10月上旬を予定しております。

【講座概要(予定)】

対象：スポーツ組織の運営に携わる方／その他、スポーツ選手や指導者など
日程：〔サテライト講座〕
2010年2月20日(土)・21日(日)・27日(土)・28日(日)
〔SFA特別講座〕
2010年2～3月中に実施
場所：さいたま市周辺
受講料：4万円程度

技術委員会より

●「トライアルSFA」報告

中体連技術委員長 小松 工 (新座・五中)

早ければ6月に「引退」としてしまふ、中学3年生の練習機会増を目指し、PHQからの補助金を受けて活動を行っている。現在SFAの直接的な事業になっていないことが残念なところだ。

昨年度は11地区(さいたま市・浦和は3会場)で開催し、今年度は15地区での開催、600人の参加を目標にしている。内容としてはトレーニング～ゲームという流れが多いが、飯能ではチームを編成し、「飯能フス ティバル」(飯能南高主催)に参加し、モチベーションを上げさせているようだ。

会場は主に高校で、実際に高校の指導者にお任せしている。その連携は問題ないのだが、3種側の指導者の関わり方が不十分で、2種の指導者の皆さんに申し訳なく思うこともある。

時期的には9月からのスタートだが、実際には7月からのスタートが可能であればと思っている。しかし、2種の7月はU-18リーグがあり、U-16リーグもスタートと多忙だ。また、このトライアル自体の連絡も、PHQから認定の連絡待ちということもあり、遅くなってしまう、後手後手になっていることは否めない。可能であれば、SFAからも予算をいただければと思っているところだ。そのためにも、現状を知っていただき、技術委員会を通じて協力していただけるような話し合いの場を持ちたいと考えている。

もちろん、我々の中での話し合いも不可欠であり、指導者間の交流を持ちながら、保護者の協力を仰げるようにしたいものと考えている。

●「ガールズサッカーフェスティバル in 埼玉 2009夏」開催

～8月16日(日)、鴻巣市 陸上競技場～

女子技術委員長 長谷川 暁雄 (久喜高校)

昨年から、鴻巣市サッカー協会のご厚意により「女子サッカーの普及のために」と8月のこの時期(8月中旬の土日)に鴻巣市陸上競技場と上谷サッカー場を会場として提供していただいています。また普及だけでなく、U-15県トレセン、県内の高校チーム、クラブチーム、そして大学チームの交流の場になればと思って始めたのが「鴻巣までしてサッカーフェスティバル」です(今年はエルフェン狭山MARI・A、B、大東文化大学、北本高校、川口総合高校、U-15県トレセン、U-14県トレセンが参加)。

招待する中学生には、自分たちもサッカーを楽しみながら、試合も見てもらい、女子サッカーの活動の広がりを感じてもらえればという狙いの一つでした。今回は大東文化大から指導補助として学生を派遣していただき、中学生に交じってくれたのは、良い交流になったと思います。

収集したアンケートからは、参加した中学生は大体満足して帰ってくれたようです。「ガールズフェスティバル」も認知されてきたようで、普及・交流の場として広がりが出てきていると思います。それだけに、もっと運営サイドを充実させ、いい準備をしなければと思っています。

最後に参加者の皆さん、保護者の皆さん、中学校で指導されている方々、そしてスタッフの皆さん、ありがとうございました。

審判委員会より

● 2009年競技規則の改正について

国際サッカー連盟 (FIFA) より、2009年 5月12日をもって2009年の競技規則改正について下記の4点が通達されました。この改正は国際的には7月1日から有効となりますが、日本協会ならびに都道府県協会等が主催する試合については、7月1日以降のしかるべき日 (遅くとも8月中) から施行する事と致します。

①第1条ー競技のフィールド

フィールドの表面 (競技規則 P. 6、P. 163～164 参照)

【改正前】

FIFA 加盟協会の代表チーム、またはクラブチームの国際競技会のいずれの試合においても人工の表面のフィールドが用いられる場合、その表面は FIFA の人工芝品質コンセプトまたは国際人工芝基準の要件を満たさなければならない。ただし、FIFA から特別な適用免除を受けた場合を除く。

【改正後】

FIFA 加盟協会の代表チーム、またはクラブチームの国際競技会のいずれの試合においても人工の表面のフィールドが用いられる場合、その表面は FIFA の **サッカー** 芝品質コンセプトまたは国際人工芝基準の要件を満たさなければならない。ただし、FIFA から特別な適用免除を受けた場合を除く。

②第11条ーオフサイド

競技規則の解釈と審判員のためのガイドライン (競技規則 P. 101、P. 164～165 参照)

【改正前】

守備側競技者が相手競技者をオフサイドの位置に置くためゴールラインの後方に下がった場合、主審はプレーを続けさせ、ボールが次にアウトオブプレーになったとき主審の承認なくフィールドを離れたことでその守備側競技者を警告しなければならない。

【改正後】

どのような理由があっても、主審の承認なくフィールドを離れた守備側競技者は、オフサイドかどうかの判断のため、プレーが次に停止されるまで、自分のゴールラインかタッチライン上にいるものとみなされる。意図的にフィールドを離れた競技者は、ボールが次にアウトオブプレーになったとき警告されなければならない。

③試合またはホームアンドアウェーの対戦の勝者を決定する方法 ペナルティーマークからのキック (競技規則 P. 51、P. 165～166 参照)

【改正前】

試合が終了し、ペナルティーマークからのキックを行う前に、一方のチームの競技者数が相手チームより多い場合、競技者の多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の氏名と、背番号を主審に通知しなければならない。

【改正後】

改正前の競技規則に加えて次の競技規則が追加された。

「これによって、除外された競技者はペナルティーマークからのキックに参加することができない。」

④テクニカルエリア

(競技規則 P. 166～167、P. 193)

【改正前】

その都度ただ 1 人の役員のみが戦術的指示を伝えることができる。指示を与えたのち、所定の位置に戻らなければならない。

【改正後】

その都度ただ 1 人の役員のみがテクニカルエリアから戦術的指示を伝えることができる。

●審判インストラクター研修会開催

平成 21 年度第 1 回審判インストラクター研修会は、7 月 26 日 (日) リコー東松山研修センターを中心に実施された。この研修会では、例年、競技規則の改正の伝達と審判員の実技に対する評価基準と指導の方向性の確認が行われる。また、競技規則の講義が効果的にできるようにプレゼン技術の向上も課題として実施される。各インストラクターの個性を活かしながら、審判技術の向上の一助となるような活動ができるよう決意を新たにした研修会であった。(関根)

●「上級審判員研修会」開催

6 月 27、28 日の両日、東松山リコー研修センターにおいて上級審判員研修会を実施いたしました。県内審判員、インストラクター 45 名が参加し、プレゼンテーション、グループディスカッション、ブラティカルトレーニングと日ごろ身につけた知識と技能をより高めるため活発な研修が行われました。特に今回は、県ラグビー協会審判委員長の大塚氏よりラグビーの審判についての講演をいただき、それぞれの競技における考え方を知ることができました。これからも日々努力し審判員として、また社会人としてバランスのとれた判断、行動を心がけてはいけないと感じました。(木村)



●市町・種別審判長会議開催

7 月 11 日、さいたま共済会館にて「2009 年 (財) 埼玉県サッカー協会 市町・種別審判長会議」が開催されました。出席者は 48 名。

冒頭、横山専務理事より「組織の拡充、委員会の活性化、4 種の育成指導の重要性」について話があり、SFA が目指す、4 種から 3 種へつなげる指導体制などが説明されました。

審判については、岡田委員長から「審判委員会の活動方針及び活動状況、課題」が紹介され、以下のようなテーマで担当者から説明がありました。

○2009 年度競技規則改正について

—— 関根インストラクター部長

○審判資格更新講習会における登録料の納入方法について

—— 森山総務部担当

○審判割り当てについての取り組み状況について

—— 北澤競技部長

○審判育成と市町・種別協会へのお願い

—— 関根インストラクター部長

○上級審判員宿泊研修会などの取り組みについて

—— 木村指導部長

○各リーグ等への登録状況及び活動全般について

—— 宮崎フットサル部長

特に、2010 年度の登録より、更新講習会参加申込時に登録費を納入する方法に変更しました。そのことに関して、ご質問やご意見をたくさん頂きました。

改善できる点は改善を行い、皆様のご理解・ご協力をいただき勧めていきたいと思っております。これからも審判委員会の活動にご理解・ご協力頂けますようお願いいたします。(田中)

インフォメーション

●第89回天皇杯全日本サッカー選手権大会～埼玉県開催分～

3回戦 10月31日(日) 15時～ NACK5 スタジアム

4回戦 11月15日(日) 13時～ 熊谷文化スポーツ公園陸上競技場

●高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会

決 勝 10月12日(月・祝) 13時～ 埼玉スタジアム2002

●県内大会「決勝戦」

高校選手権

決 勝 11月15日(日) 14時5分～ 埼玉スタジアム2002

中学新人戦

決 勝 11月15日(日) 10時～ 埼玉スタジアム2002

第18回埼玉県ユース(U-15)サッカー選手権大会

決 勝 10月17日(土) 13時20分～ 駒場スタジアムサブグラウンド

第38回埼玉県サッカー少年団中央大会

決 勝 11月28日(土) 14時～ 埼玉県スタジアム第2グラウンド

●SFA NEWS、ホームページに掲載中

今年度より、役員、チーム代表者、審判1～3級に配布されていた「SFA NEWS」をSFAのホームページ上でも閲覧できるようになりました。多くの方々に目を通していただき、SFAの考え方や方向性をご理解、ご協力いただければと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

●「(財)埼玉県サッカー協会だより」連載中

埼玉新聞社のご協力により、原則月曜日の運動面にて「(財)埼玉県サッカー協会だより」を連載しております。SFAの考え方だけでなく、各種別の現状とこれからなどにも触れ、SFAの活動を県民の皆さんにご理解いただけるようにしております。ぜひ、ご覧ください。

●巡回研修会の開催～4種に向けて～

4種チームの監督・コーチ・選手・および保護者を対象にして、「リーグ戦の考え方」などをテーマにした「巡回研修会」を開催したいと思います。各地区での集まり、チームでの集まりに47FAインストラクターがお邪魔します。ぜひ、事務局(担当・坂庭)までご連絡ください。

なお、C級ライセンスをお持ちの方には、リフレッシュポイント5がつきます。よろしくお願いします。

●技術委員会より

前号で技術委員会のブログの紹介をしましたが、諸事情により

閉じることになりました。関係者の皆さんにはご迷惑をおかけしました。各種インフォメーションに関しては、引き続き、SFAホームページをご覧ください。今後ともよろしくお願い致します。

●お詫び

前号の結果で、関東少年サッカー大会への出場チームとして、戸塚FCの記載が漏れておりました。関係者の皆さんにはご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

●審判委員会・フェアプレー規律委員会からお知らせ

～JFAより「リスペクト・プログラム」発信～

このたびJFA審判部では、全国の審判員20万人に対して、リスペクトワッペンを送付しました。

リスペクトとは、相手を大切に思うこと、相手に思いやりを持つこと、競技規則を守ること、審判の判定を尊重することです。それは、フェアプレーの原点であり、サッカーに関わるすべての人が、お互いリスペクト(大切に思うこと)することによって、すがすがしい、皆が楽しめるサッカーを創造することができます。

そのためにJFAでは「リスペクト・プロジェクト」を立ち上げ、様々な活動を推進していきます。その一つとして、この程ワッペンを作成しました。着用にあたっては右袖に貼付してください。なお、ワッペンはKick offの「審判」にて購入することができます。

SFAとしても推進して参りたいと思っています。皆様も、フィールド上のみならず、様々な場で「リスペクト」についてお話いただくなど積極的にリスペクト推進に取り組んでくださるようお願いいたします。



●AFC U-19女子選手権大会2009、U-19日本女子代表優勝！～埼玉県関係者紹介～

監督 佐々木則夫(熊谷市在住)

DF 山崎 円美(ASエルフェン狭山→浦和レッズジュニアユースレディース→アルビレックス新潟レディース)

櫻本 尚子(浦和レッズレディース)

熊谷 紗希(浦和レッズレディース)

岸川奈津希(浦和レッズジュニアユースレディース)

竹山 裕子(浦和レッズジュニアユースレディース)

MF 堂園 彩乃(浦和レッズレディース)

後藤 三知(浦和レッズレディース)

※ 来年、ドイツでのFIFA U-20女子ワールドカップに出場する

編集後記

●夏の炎天下での各種大会が一段落した。冷夏とはいえ選手はもちろん、運営に携わる役員のご尽力に頭が下がります。ニュース等でご案内のようにインフルエンザが猛威をふるっている。埼玉のチームからも数件の感染報告を受けている。消毒液も不足がちとか、今後、大会運営に支障をきたさなければいいが。(高橋)

●夏の各大会が終了しました。今年の成績はどうだったのか気になりますが、どの大会でも優勝するのは1チーム。次に向かって頑張ってください。(坂庭)

●インフルエンザが猛威をふるっていますね。うがいや手洗いをして予防しましょう！また「食欲の秋」が到来です、栄養をたっぷり摂って『健康第一』で行きましょう！(こいち)

●最近気が向いて都合が合うと、インド料理屋さんに行っています。私には少し辛いですが、どれも美味しくて(味は他の店よりお気に入り)、なんとなく独特な雰囲気を持つお店に、ハマりつつあるこの頃です。(かのう)

●8月30日(日)、県社会人サッカーリーグ2部の試合を見に、杉戸町の西仮グラウンドへ行きました。台風11号の影響で時折小雨が降る天気で、真夏の太陽は雲に隠れて気温はさほど上がりません、サッカーをするにはまずまずのコンディションでした。地元の役員にあいさつを済ませた後、世間話や関係する仲間の様子を役員だけでなく、審判員とも交流することができました。有意義な一時でした。(森山)

●「プレーヤー復帰」を目指し、スタートした

走り込みの頻度が少しずつ落ちてきました…。スポーツの秋、食欲の秋、存分に秋を楽しむ為にも、また一歩走り始めることを編集後記で誓います。さあ頑張ろう!!(小豆澤)

●最近引越をしました！高校時代1度も踏む事ができなかった西が丘サッカー場がすぐ近くにあるので、暇さえあればたくさん試合を見てサッカーの勉強をしたいです！(佐々木)

●9月、4種リーグ戦の後期が始まりました。『子どもたちの成長のために必要な時間』それがリーグ戦。(栗島)

※ 前号編集後記において狩野さんの一文が漏れておりました。深くお詫び申し上げます。